



# News Release

2023年2月22日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
北海道支所

## 小さなうっかりが大きな火災に ～「製品による建物火災」～

### 1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、建物火災<sup>※2</sup>の事故は、北海道で合計20件ありました。そのうち、石油ストーブで6件の死亡事故が発生しています。

#### (1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2017～2021年度）

発生年度	合計
2017年	3
2018年	3
2019年	8
2020年	4
2021年	2
合計	20

#### (2) 製品別・被害状況別事故発生件数

製品別・被害状況別の事故発生件数を表2に示します。

表2 製品別・被害状況別事故発生件数（2017～2021年度）<sup>※3</sup>

製品名	被害状況				合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	
石油ストーブ	6	1	2	5	14
石油ファンヒーター			2	1	3
ガスこんろ				1	1
配線器具				1	1
石油給湯機				1	1
合計	6	1	4	9	20

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。
- (※2) 本資料では、住宅や店舗などの建物が半焼または全焼した火災を「建物火災」としています。
- (※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 主な事故事例

### (1) 石油ファンヒーター

○2019年12月（北海道、60歳代・女性、拡大被害）

事故内容：使用中の石油ファンヒーター付近から出火し、住宅を全焼した。

事故原因：使用者が石油ファンヒーターの温風吹き出し口付近に可燃物を置いたままファンヒーターを運転させたため、温風吹き出し口からの温風により可燃物が加熱され、事故に至ったものと推定される。

### (2) 石油ストーブ

○2020年1月（北海道、20歳代・男性、拡大被害）

事故内容：石油ストーブ付近から出火し、住宅を全焼した。

事故原因：使用者が除雪機に使用するために用意していたガソリンを灯油と間違えて給油したため、異常燃焼を起こし出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

## 3. 事故を防ぐためのポイント

- ① 暖房器具の周りには燃えやすいものを置かない、そばを離れない。
- ② ストーブへの給油時は必ず消火する。灯油が漏れていないことを確認してから本体にセットする。
- ③ ガソリンと灯油はそれぞれ専用の容器で別の場所に保管する。
- ④ 安全機能が充実している製品への買い換えを検討する。

## 4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:鈴木、佐藤

電話:011-709-2324